

**Just as** kittens and puppies learn about [how to live through play], / **so do** children.  
類似 倒置

They need space, / especially outdoors, / **so that** they can run, jump, and yell.  
= children S' V<sub>1</sub> V<sub>2</sub> V<sub>3</sub>

### 内容Check!

問 次の各文が正しければ ( ) に○を、誤っていれば×を記入しなさい。

1. Kittens and puppies learn how to fight enemies through play. ( )
2. According to the author, Japanese children in cities don't have much space to play in. ( )
3. Children need space, especially outdoors in order to learn how to live. ( )

### 覚えておきたい表現

#### ■ get + 過去分詞「～の状態になる」

ℓ.3: without **getting hurt** 「けがをすることなく」

・ get hurt 「けがをする」: この hurt は過去分詞で, be hurt の be を get に置き換えた形。

Ex. As the robber was running away, he **got caught** by a passing policeman. 「その泥棒は逃げている途中で、通りかかった1人の警察官につかまった。」

・ without ...ing 「…しないで」: without は前置詞なので, 次に動詞を続ける場合は動名詞にする。

Ex. Can you take the coin out of the purse **without using** your index finger? 「人差し指を使わずにコインを財布から取り出せますか。」

#### ■ in order to do 「…するために」

ℓ.6: **in order to grow up** 「成長するために」

・ in order to do 「…するために」: 同義の so as to do と同様に頻出表現なので, 一緒に覚えておこう。

Ex. You have to study for at least six years **in order to be** a lawyer. 「弁護士になるためには, 少なくとも6年間勉強しなくてはならない。」

#### ■ so do S 「～(S)もまた同じである」

ℓ.8: Just as kittens and puppies learn about how to live through play, **so do children**. 「子猫や子犬が遊びを通して生きるすべについて学ぶのと同じように, (人間の) 子供も学ぶ [同じである]。」

・ so do S は前節の内容を受けて「～(S)もまた同じである」という意味。したがってここでは, so do children = children also learn about how to live through play ということ。「そのように」という意味の副詞 so が前に出ることで, 動詞 do が引つ張られて出る倒置が起こる。なお, 前文に be 動詞や助動詞が用いられている場合は do が be 動詞や助動詞になる。

Ex. I read *Time* magazine, and **so does Mr. Smith**. 「私は『タイム』誌を読んでいるが, スミスさんも同じだ。」

・ just as ~: 「ちょうど～のように」という意味で接続詞の役割を果たしている。

Ex. It came out **just as** he had expected. 「ちょうど彼が予想していたとおりになった。」

#### ■ so that S can (could) do 「～(S)が…するために; …できるように」

ℓ.11: **so that** they **can run, jump, and yell** 「彼らが走り, 跳び, そして大声で叫ぶことができるように」

Ex. The coach yelled instructions **so that** everyone in the gym **could hear** him. 「コーチは, 体育館にいる全員に聞こえるように大声で指示を出した。」

### 整理しよう! \*段落要旨・構造\*

#### ① 子猫や子犬が遊びから学ぶもの

子猫や子犬: 遊びを通じて, 生きる技術を習得する。

◆ ℓ.3 **such as** ~ 「～のような: 例」

(例示) 1. 障害物の飛び越え方のような身体的技能を学ぶ。

◆ ℓ.4 **also** 「また: 列挙・追加」

2. 他者との社会的な付き合い方も学ぶ。

◆ ℓ.4 **For example** 「例えば: 例」

→ じゃれてかみつく時の, 力の加減が挙げられる。

このような身体的・社会的技能は, 動物の子供が成長するうえで欠かせない訓練。

#### ② 人間の子供と遊びの関係

◆ ℓ.8 **Just as** ~ 「ちょうど～のように: 類似」

人間の子供も動物の子供のように, 遊びを通じて生きるすべを学ぶ。

◆ ℓ.9 **But** 「しかし: 逆接」

現代の日本では遊ぶ場所がない。

→ (結論) 子供はエネルギーを発散させるために屋外の遊び場が必要だ。

### 背景知識

#### ● 幼児の遊びの意味

子猫などの動物の子供は, 生きていくための技術を遊びの中で身に付け社会性を学んでいくが, 本文のように同様のプロセスが人間の子供の場合にも見られるという説明は, 発達心理学に詳しい。幼稚園 (kindergarten) の語源となった幼児教育学校を創設したフリードリヒ・フレーベル (1782 ~ 1852) は, 子供の遊びの中にそのようなプロセスを見出し, 「遊び」を重視した最初の人物で, 以後, 発達心理学では「遊び」が重視されるようになった。

フレーベルの説によれば, 幼児は, 生来の活動本能を遊びという形で発揮する。遊びを通じて外界に関わる中で, 外界とはどういうものかを知っていくと同時に, 自分自身をも知っていくという。つまり, 人間の子供の遊びも動物の子供と同様, 外界を知るための活動であると言える。なお, フレーベルは, 遊びの機会を十分に子供に与えるための教育遊具 (恩物) を開発し, それを広めようともしていた。その1つが今日の「積み木」のもとになった。

【深めたい人】: 林洋一監修『やさしくわかる発達心理学』(ナツメ社, 2005年)